

## 特産のシキミから「爽やか線香」-井内区人・空・棚田を生かす会-



手入れされている井内地区のシキミ畑

線香は、愛媛大学や東温市などが協働し、6年がかりで開発してきました。シキミの葉を乾燥させて粉末状にし、形成加工します。特にシキミに含まれる有毒成分「アニサチン」の無毒化を証明するため、分析機関による安全性確認に苦労したそうです。

通常、線香の材料はビャクダンやニッケイが使用されますが、シキミを使う例もあり、シキミの線香は懐かしい棚田の風景を呼び起こす自然な芳香がするといわれています。

美しい棚田で知られる東温市井内地区では、江戸時代末期からシキミ栽培が盛んであり、現在でも棚田の周辺にシキミ畑が広がっています。地区の七十数世帯の大半がシキミを栽培、その収入により地区の棚田を維持してきたとのこと。

その井内地区の農家さん達が組織する「井内区人・空・棚田を生かす会」では今春、特産シキミの廃棄部分を活用した線香を開発しました。

出荷用のシキミは、大きな枝ごとに切って収穫し、お供え用のサイズまで切り落とすため、半分以上は廃棄していましたが、この廃棄される葉の部分を線香の原料に活用するというのです。



乾燥させたシキミの粉末から出来上がった線香「思季美」

出来上がった線香は、自然が豊かなふるさとの「美しい季節を思う」という願いをこめて「思季美(しきみ)」と命名されました。

今も広がる地元の棚田の保全をシキミの収入が支えていることから、住民たちは「シキミの生産を安定させ、棚田を引き継ぐことにもつなげたい。」と地域の将来を見据えておられます。

また、会の代表である菅野会長は「少子高齢化でシキミの栽培もかつての勢いはないが、中山間地域で頑張ってやっと線香の開発までたどりついた。多くの人に喜んでもらい、地域の活性化につながればうれしい。」と語られていました。

住民による線香の箱詰め作業  
(井内区人・空・棚田を生かす会提供)

## ディスカバー農山漁村の宝アワード～第9回選定～ 募集中



農林水産省では、農山漁村の可能性を引き出した地域の活性化や所得向上に向けた取組を募集しています。

ご応募頂いた中から特に優れた取組については選定証を授与するほか、特設Webサイトやイベントへの出展などを通じて全国に広く発信していく予定です。

キラリと光り輝く可能性の宝庫である、あなたと、あなたのふるさとの底力を見せてください！

募集期間：2022年8月26日（金曜日）まで

詳しくはこちらをご覧ください。

（「ディスカバー農山漁村の宝」特設Webサイト）

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

## 「令和4年度中国四国農政局食育Webセミナー」学ぶ 食べる 育てる「マイ畑」～どこでも だれでも 種からの野菜づくり～の開催について～

おうちでプチ農業体験！豆苗を育ててみませんか？

中国四国農政局では、家庭で簡単にできる野菜づくりを通して、食べることの楽しさや大切さを学ぶWebセミナーを開催します。

たくさんのご参加、お待ちしております。

※参加には事前申し込みが必要となります。

申込期間：令和4年8月15日（月曜日）まで

動画の配信期間：令和4年7月20日（水曜日）～令和4年8月31日（水曜日）

詳しくは、こちらをご覧ください。

（中国四国農政局ホームページ）

[https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/220621\\_11.html](https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/220621_11.html)

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177(代) FAX(089)932-1872 <農政局HP>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.maff.go.jp/chushi/>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>